

# 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

## 男性を対象とした取組について

キーワード：男性の家事・地域参画、交流、男性相談

### 「男性講座」 ～世代別にターゲットを絞って毎年度 2 回以上実施

～これからの人生を生きるために～ 定年\*男の「スターティング・ノート」 (平成 24・25 年度)

- ・目的・・・「男の鎧」「固定的性別役割分担意識」の解消、男性の家事育児参画・WLB 促進
- ・実施日・・・平成 24 年 12 月 8 日 (土) 13:00~16:30 (全 1 回)
- ・対象・・・60 歳代を中心とした男性 ・申込/参加者数・・・57/41 (当初定員 30)
- ・講師・・・吉岡俊介さん (シニア産業カウンセラー、キャリア・コンサルタント)
- ・満足度 (4 段階調査)・・・第 1 位 79.5%、2 位までで 94.9%
- ・内容など・・・これまでの人生の振り返りと定年後の人生のプランニングのワーク、それに基づ

く参加者同士のディスカッションを中心に、男性性や WLB、ストレス対処法などについての情報も織り交ぜながら進められる講座形式の事業。仕事中心でがむしゃらにがんばってきた世代の男性に「男の鎧」を脱ぎ、堅くなっている自身の扉を開けて第 3 の人生の進め方を考える機会として企画。人気が高く定員を増やしキャンセル待ちも行いましたが、多くの方が受講できなかったため次年度も同講座を開催することにしました。

男はつらいよ 働き盛り\*男の人生設計！ (平成 25 年度)

- ・目的・・・「男の鎧」「固定的性別役割分担意識」の解消、男性の家事育児参画・WLB 促進
- ・実施日・・・平成 25 年 5 月 26 日 (日) 13:30~16:30 (全 1 回)
- ・対象・・・40 歳代を中心とした男性 ・申込/参加者数・・・28/22 (当初定員 30)
- ・講師・・・濱田智崇さん (京都橘大学助教、臨床心理士)
- ・満足度 (4 段階調査)・・・第 1 位 60.0%、2 位までで 100.0%
- ・内容など・・・男性相談からみえる男の悩みとその背景についての情報提供と、それを踏まえて

いま自身にあるもやもやとした悩みについて参加者がお互いに話し合うディスカッションを実施。社会人としても人生としても折り返し地点となる 40 歳代を機に、一度立ち止まってこれからの「後半戦」を違う視点で楽しみながら進んでいけるようにという想いから企画しました。

### 「男性相談」 ～男性の相談員がジェンダーの視点で男性の声を聴く

- ・実施日・・・毎月第 1 木曜日 17:00~19:00 (予約優先)
- ・内容など・・・女性センターから男女共同参画センターとなった平成 13 年度から実施。ジェンダーの視点で相談を聴くことができる専門の男性相談員が担当しています。また、継続的なサポートができるよう、予約優先方式となっています。年間で 30 件以上の相談を受けていますが、内容は夫婦問題が最も多く (39%)、次に家族問題 (28%) が続いています。(平成 24 年度) また、性に関する相談も多く寄せられており、男性の相談員だからこそ安心して話せる悩みの窓口として利用されています。

### 活動のきっかけや目的 ～男性職員の想いものせながら

男性講座は、年度内の実施数は多くありませんが、「男性が変わらないと男女共同参画は進まない」と

いう意識から、重要なアプローチとしてオープン直後の平成 7 年度より継続的に開催しています。最近  
は男性職員が企画することが多く、自身の現在～未来についての迷いや不安などにどう対応していく  
かという視点から発想し、「誰もが生きやすい社会づくりのために」という目的を持って具体案に落とし  
込んでいます。

また、男性は「男らしさ」という囚われの中で弱音や悩みを誰かに相談できず一人で抱え込んでしま  
う傾向があるため、講座内でのディスカッションなど男性自身がまず自分の想いを語る場を提供するこ  
とが重要であると考えていますが、事業内での対応に留まらず、男性相談も全国のセンターの中でも早  
い時期に開設し、継続して行っています。現在、男性相談の件数は増加傾向で、改めてその必要性を感じ  
ています。

## ポイント ～シンプルでブレない目的意識と「おみやげ」感

男性講座は対象世代に関わらずどれも「固定的性別役割分担意識の解消」を核として企画しますが、  
講座ではそのメッセージだけを一方的に押し付けるのではなく、参加者にモノやスキル（資格）、人脈な  
ど何かしらの「おみやげ」を持って帰っていただけるように意識しています。同時にその「おみやげ」  
だけが目的にならないように（単なる「料理教室」等で終わらないように）メッセージをしっかりと提  
示するよう、バランスに気を付けて企画しています。

定年世代向けの事業は対象の方の絶対数が多く時間的な余裕もあることから比較的集客しやすく、ま  
た老後の生き方、介護、孫育て、防災など様々な切り口で企画を工夫できます。この世代が家事・地域  
参画に動くことで若い世代へもよい影響を及ぼすことも考えられるため、あらゆる側面から継続的に実  
施していくことが重要だと考えています。

## 活動の成果や今後の展開 ～「次」につながる機会や場の提供も

平成 23 年度に行った「カッコイイじいじになろう！～ソフリエ資格をとって地域デビュー～」（ソフ  
リエ＝孫育てができるおじいちゃんの民間資格）では、フレンテの働きかけにより講座後にグループ「ソ  
フリエみえ」が発足し、地域の子育てセンターやイベントで積極的に活動しています。また、翌年の「ス  
ターティング・ノート」参加者には、講座時にソフリエみえほかフレンテ登録の男性グループを紹介し、  
後日交流の機会を設けました。（うち数名がグループに加入）

グループ形成は“いい波”が生まれないとなかなか実現せず難しい面もありますが、事業の効果を一  
過性のものにしなないためには必要だと思います。既存グループとの交流の場の提供を含め、今後も積極  
的に働きかけていきたいと思っています。

## その他 ～こちらどうぞ

独立行政法人国立女性教育会館（ヌエック）の「男女共同参画と男性 男性の家庭・地域参画を進め  
る学習プログラム ハンドブック」でも、フレンテみえ男性講座をご紹介します。よろしければこ  
ちらもぜひご覧ください。 <http://www.nwec.jp/jp/publish/report/page45.html>

### 【自治体・事業紹介】

名称：三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

事業開始年：平成 7 年度～

概要：「フレンテみえ」男性を対象とした取組紹介

ホームページアドレス：<http://www3.center-mie.or.jp/center/frente/index.shtml>

連絡先：TEL 059-233-1130 FAX 059-233-1135 E メール/ [frente@center-mie.or.jp](mailto:frente@center-mie.or.jp)